

丹後織物

No.
887

2023.1.1

TANGOORIMONO

発行所 丹後織物工業組合 京都府京丹後市大宮町河辺3188 TEL 0772-68-5211 FAX 0772-68-5300 <https://tanko.or.jp>

年頭所感



丹後織物工業組合
理事長
田茂井 勇人



新年あけましておめでとうございます。

組合員の皆様には、ご清祥のうちに新しい年を迎えられたことと、お慶び申し上げます。

さて、新型コロナウイルス感染症もウイズコロナ社会への移行の流れの中でようやく日常を取り戻しつつあり、感染縮小傾向の中で世界経済は回復基調となりました。しかしながら、ロシアのウクライナ侵攻などを背景としたエネルギー価格や為替の急激な変動により原材料価格が急騰し、産地事業者の経営環境を悪化させているのが現状です。さらに丹後の織物業は和装需要の減退や構造的不況に加え、織物に携わる従事者の減少、高齢化による技術継承の課題や織機等設備の老朽化による生産基盤の弱体化など、非常に厳しい状況が長く続いています。

このような中、昨年には今後の丹後

産地の向かうべき方向性を示した「丹後織物業地振興ビジョン」を策定し、その具現化に向けて動き出したところであります。その第一歩として、組合精練工場の見学ルートの整備や組合員の生地やプロダクトが一堂にご覧いただける施設の整備等を行い、自分達で稼ぐ組合・産地を目指した取り組みを進めています。今後においても「消費者に感動を与える商品が生まれる産地」、「絹織物といえば丹後」、「クリエイティブな商品づくりが可能な地域」として、国内外のデザイナー・バイヤーからユーザーまで、多くの方々に注目される産地を目指した展開を進めてまいります。

また、コロナ禍によりリアル展示会の開催が難しい中、オンライン商談に組みはじめるとともに、絹セリシン配合のスキンケア化粧品「きぬもよふ」等をはじめ、メイド・イン・丹後のプロダクトの販売を行うECサイト

も構築し、稼ぐ力の基礎づくりに取り組んでいるところであります。

さらに、丹後産地としては「きもの市場」を基軸としつつも、これまで培ってきた織り技術や精練を含めた様々な関連技術を活かし、ファッション・インテリアなどの成長するグローバルな市場を目指すことも不可欠であり、一昨年より京都府の御支援の下、日本を代表する府内和装3産地が連携し新市場の開拓、人材育成などを推進していく「シルクテクニクススタイル・グローバル推進コンソーシアム」による各種事業など、新たな取り組みを推進しているところでもあります。

組合の加工場は、その歴史、規模、技術力は日本一の工場だと自負しております。老朽化した設備の更新や高付加価値加工を可能とする機械の導入を進め、丹後のみならず日本の和装文化を支える加工場としての使命を果たしていく所存です。

受け継がれてきた「絹織物」という資産を次世代へ確実に継承し、若い世代が郷土に誇りを持てる産地を築くため、引き続きチャレンジして参りますので、組合員の皆様の格段のご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。

「あたたかい京都づくり」へ邁進まい



京都市知事

西脇 隆俊

あけましておめでとうございます。府民の皆さまにおかれましては、つつがなく新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

新型コロナウイルスとの闘いも3年になろうとしています。長きにわたり感染防止対策に取り組んでいただいている皆さま、そして、医療従事者をはじめ関係の皆さまに、心から感謝と敬意を表します。

昨年は新型コロナウイルスの拡大に加え、ロシアによるウクライナ侵攻や世界的な物価高、さらに記録的な円安などに見舞われ、今も社会生活への甚大な影響が続いています。こうした情勢の中でも安心して豊かに暮らし、将来に向かって夢を抱くことができるよう、「あたたかい京都づくり」を進めていくことを決意し、総合計画を1年前倒しして改定しました。同計画に基づく施策を令和5年度当初予算に盛り込みます。

「時が物事を変えると人は言うが、実際は自分で変えねばならない」

They always say that time changes things, but you actually have to change them yourself。これは米

国の芸術家アンディ・ウォーホルの言葉です。今年3月、いよいよ文化庁が京都で業務を開始し、明治維新以来初の中央省庁移転が実現することとなりました。彼が言うように、この歴史的な出来事が私たちに何をもたらすかわけなく、私たちがこの機会をどう活かしていくかが問われます。「文化の都・京都」の実現に向け、国と地方が連携して日本各地の文化に光を当て、世界へ発信し、ここ京都から新たな文化の潮流を起こしたいと考えています。

この他、「社会で子どもを育てる京都」の実現に向け、子育て環境日本一の取り組みを進化させてまいります。また、京都の強みである大学の「知」と学生の「力」を積極的に地域や企業に取り入れ、京都の活力を生み出してみたいです。そして新名神高速道路開通や、大阪・関西万博開催などの好機を活かし、京都の発展に取り組んでま

います。

今年も卯年です。その愛らしい姿と温厚な性質で「家内安全」を、跳躍する姿で「飛躍」を象徴するウサギの年。にふさわしく、皆さまと共に「あたた

年頭所感



京都織物卸商業組合
理事長

野瀬 兼治郎

新年あけましておめでとうございませう。

皆様におかれましては、つつがなく新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

さて昨年は、新年の幕開けと共に新型コロナウイルスの第6波が押し寄せ、厳しい年初となりましたが、春を迎える頃にはその流行も一段落し、様々な制限が緩和され、ウイズコロナを念頭に本格的な経済回復に向けて動き出しました。

しかし、その出足を挫くように2月にロシアがウクライナを侵攻、アメリカの度重なる利上げの影響などにより3月以降円安が加速し、年初に115円台をつけていた為替相場は10月には32年ぶりに150円台まで上昇しまし

かい京都づくり」へ邁進してまいる所存です。

今年一年の皆さまのご健勝とご多幸を心からお祈り申し上げ、新年のごあいさつといたします。

た。このような世界情勢の煽りを受け、国内では原材料価格、エネルギー価格が高騰、消費者物価が上昇し、社会経済活動の回復に大きな影響を及ぼしました。

そうした中であって、新型コロナウイルスの制限緩和以降、高額品を中心に百貨店売上高が連続して前年同月上回る一方、秋に導入された全国旅行支援などの後押しで観光が活況を取り戻し、久しぶりに観光地に人が溢れる姿が見られました。

当組合では、5月に3年ぶりとなる対面での総会・組合員大会を開催し、改めて、皆様と実際に顔を合わせて、懇親を深めることの大事さを強く感じたいところです。

また、組合活動は出来る限り平時

に戻すことを意識して、「十三まいり」「七五三詣り」「きもの日広告塔コンクール」「きものオーディション」等の振興事業や部会事業、経営情報事業や厚生事業など、当初計画の通り事業を進めると共に、コロナ禍で得た新たな知見を活かして、オンラインとリアルのハイブリッド方式による理事会や研修会の開催にもチャレンジしました。

この3年間、これまで当たり前と思っていたことを改めて見つめ直す機会を得て、多くの新たな気づきがありました。この気づきを成長の糧としてどの様に活かしていくか、コロナ禍の負の遺産をどの様にクリアしていくか、本年は私たち一人一人の行動が問われる年になることでしよう。

和装業界は、原料、製糸、製織や染色、加工、販売、そしてアフターメンテナンスに至る多くの関連事業者が互いに支え合い、それぞれの役割を果たしていく事で成り立っています。全てのステークホルダーが最適なバトンを繋いでいくこと、それこそが業界に携わる者の最も重要な使命です。サブライチエーション全体で共存共栄関係を強固なものとしていくために、皆様と共に想い一つに取り組んで参りたいと考えております。

結びにあたり、本年が皆さまにとって良い年でありますようご祈念申し上げます、新年のご挨拶とさせていただきます。

時を重ね、時を超えて、50年。 西陣織工業組合創設50周年を迎えて



西陣織工業組合
理事長

舞鶴 一雄

新年あけましておめでとうございます。皆様におかれましては、健やかに新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年は西陣と呼ばれて55年目、西陣呼称555年を記念する様々な取組を展開しました。中でも「幻の織機 空引機」を再現し、その実演には、非常に多くの皆様にお越しいただき、新型コロナウイルス感染症の拡大により、来館者が激減していた西陣織会館に久しぶりに賑わいが戻ってまいりました。

ただ、疲弊した産地が元の活気を取り戻すにはまだまだ時間がかかります。また、解決しなければならぬ課題も山積しており、非常に厳しい状況にあることには変わりありません。

しかしながら、556年目に向けて確実に種まきができたと手応えを感じています。この取組の盛り上がりを一時的なものに終わらせることなく、次の1000年に向けて、持続可能な産地づくりに取り組んでいかなければなりません。

折しも今年は、今の西陣織工業組合ができて50年、前身の西陣織物組合の創立から数えて140年となります。

この組合にとっての節目の年に際し、改めて先人たちの労苦と功績に想いをはせ、これを受け継ぎ、次の世代に確実に引き継いでいくことが、現代を生きる我々のなよりの使命であると改めて認識する次第です。

今年いよいよ文化庁が京都の地に移転してまいります。我々西陣をはじめ、京都の伝統産業界にとっても非常に重要なターニングポイントになります。

今一度、原点に立ち返り、西陣の魅力と底力を内外に発信し、西陣織物を繋いでいく所存であります。引き続き、皆様のご理解とご支援を賜りますようお願いいたします。

今年一年の皆様方のご健康とご多幸を心からお祈り申し上げます、新年のご挨拶とさせていただきます。

本年も何卒よろしくお願ひ申し上げます。



年頭所感



株式会社 商工組合中央金庫
京都支店 支店長
花谷智隆

令和5年の新春を迎えるにあたり、所感の一端を申し述べて年頭のご挨拶とさせていただきます。

昨年は新型コロナウイルス感染症の感染拡大による行動制限の影響が徐々に和らぐ一方で、急激に進行した円安やウクライナ紛争等に伴う原材料価格の高騰等、国内外の経済の先行きに不透明感が大きく高まりました。さらに、中小企業の過剰債務解消に加え、政府が進めるカーボンニュートラルへの対応、自然災害に備えた事業継続計画の策定など、中小企業の経営課題は、従前にも増して多様化してきています。このように社会情勢や中小企業の経営課題が大きく変化する中、私も商工中金は新たな時代に相応しい組織風土・企業文化を形成し、改めて商工中金の存在意義や大切にすべき考え方を共有するために、全役職員が参画のうえ、昨年新たな企業理念（パーパス）「企業の未来を支えていく。日本を変化につよくする。」を制定いたしました。そして、このパーパスの実現に向

け、中長期的に中小企業が直面する経営課題を踏まえ、2022年度から2024年度までの3年間で計画期間とする中期経営計画を策定いたしました。商工中金経営改革プログラムで築いたビジネスモデルを強化し、より踏み込んだ企業支援に取り組んでまいります。

具体的には、新たな中期経営計画の主要戦略として「サービスのシフト」「差別化分野の確立」「企業変革」を設定し、課題解決に向けて取り組むお客さまに対して様々な経営リソースを提供することを通じて、総合的な課題解決力を発揮し、変化につよい企業経営をお客さまとともに実現してまいります。商工中金京都支店も職員一丸となって、お客さまへの様々なサポートに懇切丁寧に取り組むつつ、京都のさらなる活性化に貢献してまいります。また、こうしたビジネスモデルを支える屋台骨として、引き続きコンプライアンスの徹底や内部管理態勢の強化に取り組むとともに、職員の能力を最

大限に発揮するため、ダイバーシティの推進やインクルージョンを徹底してまいります。

「中小企業による、中小企業のための金融機関」として、皆さまから信頼され、支持され、これまで以上にお役に立てるよう、役職員一同、全力で努

地域活性化の実現に向けて



京都北都信用金庫
理事 長
藤原健司

明けましておめでとうございます。皆さまにおかれましては、健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年も新型コロナウイルスの影響を受けた1年となりました。年明けに感染者数が増加し、京都府においてもまん延防止等重点措置が発令され、その後、一時静まりを見せたものの夏頃には感染者数が増えはじめ過去最多を更新しました。感染対策と経済活動を両立し経済回復を期して、10月には全国旅行支援の開始や水際対策の緩和等が行われましたが、年末にかけての状況を見ますと、一日も早いコロナ収束を

力を続けてまいりますので、本年も格別のご指導とお引き立てを賜りますようお願い申し上げます。

年頭にあたり、皆さまのご繁栄とご健勝をお祈りいたしましてご挨拶いたします。

願うばかりです。

京都府北部地域の経済は、当金庫が実施した令和4年7～9月期景気動向調査によると、全業種の景況判断DIは前期（令和4年4～6月期）比3.5ポイント上昇の△32.4となり、2四半期連続で上昇と明るい兆しが伺える一方で、新型コロナウイルスや原油・原材料の高騰、ウクライナの情勢など先行きへの期待と不安が交錯する状況が見込まれます。このような中、貴組合はフランス・パリでの展示販売会を開催されるなど海外に向けた積極的な発信を行われるとともに、10月には「TANGO

TEXTILE EXHIBITION 第73回丹後織物求評会」を盛大に開催されました。2025年に開催される大阪万博に向けて近畿経済産業局より「丹後織物」が12の地域ブランドのひとつに選定され、また、業務のデジタル化が進展する中、ECサイトをオープンし、TANGO CREATION PLATFORMで製作されたプロダクトの販売をはじめられていることなど、今後のさらなる発展を期待しております。

当金庫は、「地域元氣宣言」を掲げ、「地域活性化の実現」に向け様々な取り組みを行っています。日本の金融機関として初めて休眠預金等活用法に基づく資金分配団体として採択を受け、「京都府北部地域におけるコミュニティ支援事業」を実施し、「農村再生や地域の働く場づくり」など様々な社会課題をビジネスで解決する企業の支援に努めました。京都府北部地域は構造的な人口減少に加え、新型コロナウイルスの影響等により、地域コミュニティの衰退を始め様々な社会課題が顕在化しています。当金庫は「地域活性化の実現」の一環として、事業者さまの経営支援に加え、このような社会課題をビジネスで解決する企業等を支援することで持続可能な地域社会を目指してまいります。

結びにあたり、丹後織物産業のますますの発展と、皆さまのご繁栄ご健勝を祈念いたしましたして、新年の挨拶とさせていただきます。

せていただきます。
本年もよろしくお願い申し上げます。

持続可能な成長に向けた歩み



株式会社 京都銀行
取締役頭取

土 井 伸 宏

2023年の年頭にあたり、謹んでご挨拶を申し上げます。

昨年のわが国経済は、新型コロナウイルス感染症への対応を中心とした状況から経済活動の本格化へ一歩踏み出しましたが、他方で地政学リスクや経済安全保障への対応などを迫られる一年となりました。先行きは不透明ですが、「想定外」だとして思考を放棄するのではなく、起こり得ることに對する予見力を高め変化に對応することが、持続可能な成長の道を歩むものと感じております。

丹後地域におかれましては、この数年で丹後ちりめんが創業300周年、丹後織物工業組合が100周年と立て続けに節目の年を迎えました。一口に100年、300年と申ししましても、

その間には、人々の生活様式の変化のほか、産業構造の転換など「想定外」の幾多の試練に直面した時期がございました。それら乗り越え、わが国が誇る文化として在り続けられていることは、先人も含めた多くの方々の不断の努力の賜物にほかなりません。白生地を中心とした時代から小物への展開、そして和装だけではなく洋装、インテリアなど従来では考えられなかった他分野の商品開発を積極的に行い、海外の展示会でも注目を浴びていることはその証左です。

また、丹後地域の高校生が提案し、企画を進めた「丹後万博2022・伝統×革新」において丹後ちりめんや古着などを素材にジェンダーレスや異文化交流をキーワードにしたファッション

ンショーが行われたほか、大学生と丹後ちりめんの事業者が連携することで端材を活用した新たな繊維製品を開発するアップサイクル事業を進めるなど、次代を担う若い世代はSDGsを切り口に新たな挑戦をしております。時代を超えて、世代を超えて新たな地平を切り拓こうとする精神性は、丹後地域が有する力強さの源泉だと確信しております。

当行も京都の北部地域で生まれ、丹和銀行として歩み始め、近畿2府3県を中心とする広域型地方銀行としての今がございます。とはいえ、近時の金融機関を取り巻く環境は大きく変容しており、お客さまの課題やニーズも多様化且つ高度化しております。我々もそのような状況を「想定外」などと諦念しているわけではございません。昨年10月に持株会社化に向けた検討を開始し、従来の金融にとどまらない総合ソリューションの展開を目指した取り組みを加速させております。この地域で育まれた精神性を胸に宿す金融機関として、試行錯誤を繰り返しながらでございますが、地域の方々の期待に応える銀行であり続けるよう邁進してまいります。

何卒、本年も宜しくお願い申し上げますとともに、みなさまのご健勝とご多幸を心からお祈り申し上げます。新年の挨拶とさせていただきます。

総代選挙 執行

投票日 2月8日(水)

候補者届出 1月31日(火)～2月2日(木)

組合では、来る2月25日任期満了となる総代の選挙を2月8日に行います。

今回の総代選挙に向けて、昨年12月開催の総代会にて総代定数が68人から58人に、また各選挙区の区分を与謝郡・宮津市・舞鶴市・綾部市・福知山市と京丹後市の2区分に変更することが可決されました。

主な選挙スケジュール

令和5年1月18日(水) 総代選挙執行公告ほか告示

1月23日(月)～27日(金)

選挙人名簿縦覧期間および異議申立期間

1月31日(火)～2月2日(木)

総代選挙立候補届・推薦届受付期間

2月8日(水) 総代選挙投票日(選挙の場合)

2月25日(土) 現総代任期満了

- 選挙日から3日以内に当選人に対し総代当選通知を行うとともに、当選人の氏名を公告します。
- 選挙または当選の効力について異議のある組合員は、通知および公告のあった日から7日以内に、選挙管理会長に対し異議の申し立てができます。
- 当選人は当選した日から10日以内に「就任承諾書」を提出しなければなりません。
- その他、詳細については組合本部へお問い合わせください。

総代定数表

『白生地』

『先染』

業 態 区 域	委託者		受託者		計		業 態 区 域	委託者		受託者		計	
	現行	改定	現行	改定	現行	改定		現行	改定	現行	改定	現行	改定
与謝郡・宮津市・ 舞鶴市・綾部市・ 福知山市	11	<u>10</u>	4	<u>2</u>	15	<u>12</u>	与謝郡・宮津市・ 舞鶴市・綾部市・ 福知山市	1	1	5	<u>3</u>	6	<u>4</u>
京丹後市	14	<u>11</u>	7	7	21	<u>18</u>	京丹後市	4	<u>3</u>	17	<u>16</u>	21	<u>19</u>
合 計	25	<u>21</u>	11	<u>9</u>	36	<u>30</u>	合 計	5	<u>4</u>	22	<u>19</u>	27	<u>23</u>

『小物』

『総合計』

業 態 区 域	委託者		受託者		計		業 態 品 種	委託者		受託者		計	
	現行	改定	現行	改定	現行	改定		現行	改定	現行	改定	現行	改定
管内全域	3	<u>3</u>	1	1	4	<u>4</u>	白 生 地	25	<u>21</u>	11	<u>9</u>	36	<u>30</u>
『広幅』							先 染	5	<u>4</u>	22	<u>19</u>	27	<u>23</u>
管内全域	1	1	0	0	1	1	小 物	3	<u>3</u>	1	1	4	4
							広 幅	1	1	0	0	1	1
							合 計	34	<u>29</u>	34	<u>29</u>	68	<u>58</u>

令和4年度丹後の職人・丹後ちりめんきもの大賞

組合では平成26年度より「丹後の職人」認定制度と「丹後ちりめんきもの大賞」表彰制度を創設していますが、このほど令和4年度の認定者及び表彰者を選定し、去る12月15日開催の総代会の席上において認定式・表彰式を執り行いました。

丹後の職人

「丹後の職人」は、産地の織物製造、また関連する様々な分野で長年従事され、その蓄積された技術を携える職人さんを認定するもので今回、1名の方が認定されました。

【第9号認定】

石橋 幸一氏 (京丹後市大宮町)

昭和45年4月より家業であった整経業に従事、ボカシ整経、縞整経など高度な技術を要する整経もこなし、今日まで52年間の長きにわたり、丹後機業のみならず京都・西陣の発展にも寄与されています。

また、近年は後進の指導・育成にも尽力されており、若手技術者の養成に貢献されています。



丹後ちりめんきもの大賞

「丹後ちりめんきもの大賞」は、丹後地域において業界に大きく貢献しているきもの愛好家などを表彰するもので今回、1名の方が表彰されました。

赤松 はるみ氏 (与謝野町)

京都きもの藤原学院の着付け教室の講師として、長年にわたり地元で着物や浴衣の着付けを指導され、平成29年からは京都きもの藤原学院丹後分校の分校長として着付け指導や講師の育成に尽力されています。

また、地元の着付け教室や各イベントでの着付け等にも積極的に協力され、自身もことあるごとに着物を着て出掛けるなど業界の振興・丹後ちりめんのPRに大きく貢献いただいています。



令和5年10月から
消費税インボイス制度
が始まります。

消費税
インボイス
制度

登録を予定されている事業者の方へ
登録申請はお早めに!

※制度開始時にインボイス発行事業者となるためには、原則として、令和5年3月31日までに登録申請を行う必要があります。



登録申請手続は、
かんたん・便利♪ **e-Tax** をご利用
ください!!

- 「e-Taxソフト(WEB版)」をご利用いただくと、質問に回答していくことで申請が可能です。
- e-Taxで申請した場合、電子データで登録通知の受領が可能です。
- 個人事業者の方はスマートフォンからでもe-Taxで申請できます。

※e-Taxのご利用には事前にマイナンバーカードの取得が必要です。

説明会を開催中

税務署での説明会やオンラインでの説明会をご案内しております。

説明会ページへ▶



制度について詳しくお知りになりたい方は、
国税庁ホームページ(<https://www.nta.go.jp>)の
「インボイス制度特設サイト」をご覧ください。

特設サイトへ▶



特設サイトでは

- ① 制度の解説動画
- ② AIを活用したチャットボット
- ③ 軽減・インボイスコールセンター などをご案内しております

入賞作品決定!!

TANGO TEXTILE EXHIBITION 第73回丹後織物求評会開催



10月18日(火)～23日(日)に亘り、「TANGO TEXTILE EXHIBITION 第73回丹後織物求評会」を昨年同様、組合敷地内の特設会場にて開催しました。本年は『世界のテキスタイル産地を目指して - 和装との融合 - 』をテーマとし、伝統ある丹後産地で織り継がれた匠の技の粋を集め、斬新かつ創造性に富む作品の数々を提案いたしました。

10月18日には、京都府議会議員の中島武文様、森口亨様をはじめ、多数のご来賓の出席のもとオープニングセレモニーをはじめ、田茂井理事長より産業振興プランの発表、第10期丹後きものクイーンのお披露目を行い、当日イベントが開幕しました。

10月18日・19日の2日間は第73回丹後織物求評会審査会を開催し、組合員

25社から出品された177点の作品を「表地部門」・「裏地部門」・「小物部門」・「先染部門」・「テキスタイル部門」の5部門に分け、2日間の来場者の投票による審査を行った結果、栄えある経済産業大臣賞にテキスタイル部門から「十二越強燃烏帽子 × 絞り練り」(臼井織物株式会社)が受賞するなど、9賞11点の入賞作品が選出されました。(入賞一覧は以下のとおり)

10月20日～23日は、一般消費者並びに地域住民に丹後で製織される織物を広くPRするとともに基幹産業に対する「誇り」の再醸成を図っていくことを目的に、組合員37社から出品された397点(求評会出品作品を含む)の作品を一般公開しました。

今回、染織祭衣装復元制作プロジェクトとして昭和初期に復元された室町時代の女性衣装を織元金重(京丹後市)の協力のもと再復元した衣装の展示、丹後ちりめん光のアート(Digital Warp / 「丹後ちりめん×デジタル」をテーマにした自身と丹後ちりめんと対話型コンテンツ)の特別展示、「renacnatta × 臼井織物」 interview movie 放映を行ったほか、BtoB向け工房見学の受付、キッチンカー来場やワークショップを開催するなど大イベントとなりました。

また、会期中の来場者によるリアル投票及び10月31日までのオンライン投票(WEB及びInstagram投票)を実施し、特別賞2点(あなた好み特別賞・伊達男(ダンディズム)きもの賞)を決定いたしました。

業界関係者のみならず、組合員や地元住民の方々など、延べ6日間で660名の来場者があり、盛会のうちに終了いたしました。なお、表彰式は12月15日開催の総代会の席上にて執り行われました。



入賞作品

賞名	部門	品名	出品者
経済産業大臣賞	テキスタイル	十二越強燃烏帽子 × 絞り練り	臼井織物株式会社
中小企業庁長官賞	表地	ユニバースグロー	和
経済産業省製造産業局長賞	小物	帯揚 半面取アーガイルと変り市松	丸共株式会社
〃	先染	ふくらし鶴紋	松田織物有限会社
農林水産省農産局長賞	表地	白帯 ラメ入りドット	篠春織物株式会社
近畿経済産業局長賞	表地	紋変わり無地ちりめん	田勇機業株式会社
京都府知事賞	小物	モール縫取帯揚 ニンジンとウサギ	丸共株式会社
〃	先染	先染着尺 水玉角通し	篠春織物株式会社
京都織物卸商業組合理事長賞	小物	帯揚 銀通し 半菊	株式会社ワタマサ
日本絹人織織物工業組合連合会理事長賞	先染	御召 シクラメン	株式会社ワタマサ
日本絹人織織物工業会会長賞	小物	縫取り 乱菊	前満織物

【特別賞】

あなた好み特別賞	表地	紋変わり無地ちりめん	田勇機業株式会社
伊達男・きもの賞	男のきもの	御召 正六角	株式会社ワタマサ

ご来場者の展示についてのご意見

- ◎ 絵チップがステキだった。いい香り。
- ◎ 接触可・不可の箇所をより明確に示していただければと思う。
- ◎ 丹後ちりめんの新しい布地に、アイディア、職人さんの努力等々にビックリした。
- ◎ 小物もたくさんあって楽しかった。
- ◎ パツと見たものに引かれたので、柄や色に左右されやすいのかなと思った。
- ◎ 白生地と染両方が見れて楽しかった。
- ◎ それぞれ作品説明もあり、分かりやすかった。東洋きもの学校の作品は説明が丁寧で読んでいて面白かった。
- ◎ 多数の織物が展示されていてとても充実していた。
- ◎ せっかくなら、もう少し増やしても良いと思う。
- ◎ 部門ごとに分かれて展示されているため見比べやすかった。素人が見ても分かる説明文は良かった。
- ◎ 以前よりバリエーションも増え、楽しい展示になってきていると思う。
- ◎ 今回も洗練された空間でテキスタイルが展示されていて壮観でした。



今回の企画展示「キッチンカー、ワークシヨップについてのご意見

- ◎ 丹後のバラ寿司が食べたい。
- ◎ 飲食スペースがもう少しあっても良いと思う。

- ◎ キッチンカーに来てもらって、ちょっとしたひとときに良かった。
- ◎ 時間なく、ワークシヨップ体験ができなかった。
- ◎ キッチンカーがあると子連れで来やすい。(ワークシヨップも同じ)
- ◎ 企画展示、ワークシヨップが新鮮だった。



当イベント、丹後産地全体に対するご意見

- ◎ ネットでの発信も良いと思う。
- ◎ バイパスからの出入り口に目立つイベント看板があればもう少し、集客できると思った。
- ◎ 東京、京都市内、仙台、広島、大阪等での企画展示が望ましい。
- ◎ 来場者が少ない。京都市で開催された方が良いのではないか。
- ◎ 全体の出品数が少ないのが残念。
- ◎ 素晴らしい技術、美しい布ばかりだった。丹後の織物は世界に誇れる日本の文化だと思ふ。
- ◎ プロダクトも充実していて良かった。
- ◎ いろいろ作品があるなかで、目に止まる物が多く見ていて飽きない。
- ◎ 初めて来たが、素材からデザインまで幅広くバリエーションがあり、大変面白かった。求評会会場にて商談ができるようになったら最高。
- ◎ 会場周りで個展も出してもらえればうれしい。
- ◎ 日常生活や仕事の装いにも丹後織物を取り入れてみたいと思った。(動きやすい作業衣など)
- ◎ 企業の方だけでなく、一般でも見る事ができて良かった。

- ◎ 若い女性がすぐに着られるような着付けの工夫が必要と思える。若い方の興味ある方向性を是非見つけていただきたい。
- ◎ 厳しいなか、頑張っていると思うが、もっともっとものづくりをしていただきたい。
- ◎ 絹以外の天然繊維での広幅織物の開拓を共に模索させていただきたい。
- ◎ 伝統、技術等を多面的に情報発信し、産地の活性化につなげていただきたい。
- ◎ productivisionが進んでいると感じた。
- ◎ 丹後の人を呼ぶにも常設の展示物会場ができればと思う。
- ◎ 丹後が持つ高い「織り」の技術が一堂に見れて、見ごたえがあった。
- ◎ 初めて参加した。産地同士で切磋琢磨したいと思った。

- ◎ 会場の床が木のチップなのは良い。敷地内に入っただけでどこが会場なのかわからなかった。休日は入り口近くの駐車場がガラガラだったので、ほんとうに開催されているのかすら疑った。
- ◎ 素晴らしい素材ばかりだった。
- ◎ 地元の人間だが、今回の展示で知ることが多くあり、また素敵な業者様も知れたので、商品購入をしたいと思います。
- ◎ 超薄手の生地が全てのを作りたい。ただし、リバーシブルのみ、コートを単衣で作りたい。
- ◎ きもの以外の商品の製作(ポーチや財布など)や絵画として可能性はあるかと思った。
- ◎ フランスなど他国とのコラボを進めていかれるといいと思います。
- ◎ 素晴らしい生地ばかりで勉強になった。正絹でない生地が賞を取られ、新しい風を感じた。
- ◎ これからもきものは丹後、帯は西陣と言われている日本の企業、丹後織物のますますの発展を祈る。
- ◎ 織物業界の衰退を感じるなかで、さまざまな分野に織物の強みを宣伝するべきと思う。(医療や製品、衣装へ)
- ◎ 若い方の新たなイノベーション。古い体質の改善。
- ◎ ポリエステルの小物展示(ポーチ、トートバッグ)に新たな可能性を見た。
- ◎ 日にち的に1〜2日でも可能であれば、

オンライン投票者のご意見

- ◎ 実際に身につけるファッションショーがしたい。
- ◎ ここ3年拝見しているが、毎回少しずつ、会としても発展、進化しているようで今後が楽しみ。
- ◎ 丹後木綿をもっと広めていくべき。
- ◎ 丹後産地、織機が減少している。新たな可能性に期待している。

- ◎ 新しいものづくりに丹後全体で取り組まれている、いつも楽しみにSNSを拝見している。これからもみなさまのお仕事、製品を楽しみにしている。
- ◎ 王道の後染め縮緬、特に無地縮緬の展示数の減少が残念。縮緬産地なので、挫けずに縮緬で頑張ってください。
- ◎ 伝統的な技法を活かしつつ、新たな商品の開発や海外への販路開拓も行っており、新たな取り組みは見ていて面白いと思う。
- ◎ 今後についても引き続き頑張ってください。
- ◎ 引き続き積極的に対外的発信や商流拡大のサポート、また後継者支援をお願いできれば幸いです。
- ◎ キラキラした生地が素敵。
- ◎ きものは着ないので、スカジャンみたいなものがほしい。
- ◎ やはり丹後の基幹産業は織物であり、灯を消さぬようこれからも頑張ってください。
- ◎ 和装だけでなく様々なプロダクトが展示されており、とても楽しかった。
- ◎ きものよりも汎用性の高いテキスタイルを選んだ。もう少しカラーの楽しさがほしい。

- ◎ 丹後織物博物館の開設。ちりめんの歴史、種類、文様など。そして生産の推移など資料や記録、支えた人々、女工哀史的な物語も含め世界に発信する文化遺産として語り継いでいくためにも価値のある一つの空間が今後の丹後のためにも必要だと思ふ。荒山木綿なども大切に語り継いでほしい。

阪急うめだ本店「手仕事ギャラリー」POPUP事業！

丹後シルク カラフルに動き出す

～上質なシルクの彩りを日常の贈り物に～

組合では、昨年度より継続して展開している阪急うめだ百貨店 手仕事ギャラリーでのPOPUPイベントを本年も開催しました。

■会期情報

2022年10月5日（水）～11日（火）

会場：阪急うめだ百貨店 7F「手仕事ギャラリー」

■出展事業者

- ・白井織物株式会社（たてつなぎ）
- ・染色工房嶋津
- ・民谷螺鈿株式会社（TAMIYA RADEN）
- ・田勇機業株式会社（tayu）
- ・株式会社山藤
- ・遊絲舎
- ・YUKKO
- ・丹後織物工業組合（TANGO CREATION PLATFORM）

会場では、TANGO CREATION PLATFORMのバルーンバッグの他、ポップでカラフルな商品を展開し、百貨店に訪れる幅広い層にご覧いただきました。

また、出展各社においても新商品を展開するなど、丹後地域での新たな動きをPRすることができました。



丹後織物事業者若手グループ^{きゅうかい}絹友会、

「きものサローネ 2022」きものマルシェへ初出展！

丹後織物事業者若手グループ^{きゅうかい}絹友会^{きゅうかい}では、11月5日（土）・6日（日）、東京国際フォーラムにて開催された「きものサローネ2022」に出展しました。

これまでになかった新たな分野での認知及び市場開拓を行っていくため、若手ならではの柔軟な発想や行動力を活かした商品群を展開し、多くの来場者にご覧いただくことができました。

出展商品は絹製の風呂敷、帯揚など和装小物の他、組合からも保湿成分豊かな絹セリン配合のスキンケア化粧品「きぬもよふ」を出展し、実際に商品に触れていただくことで商品の質の高さを実感していただきました。

本イベントは今年で10回目を迎え、「きもの」を楽しむ国内最大規模のファッション&カルチャーイベントとなっており、きもの魅力と楽しさを伝える内容満載の企画を行うとともに、多くのきものファンに対し新しい価値を提供できるようSNS、YouTubeやライブ配信などさまざまな新しいツールを利用し情報のシェア、拡散に努めていました。



【「きものサローネ2022」きものマルシェ】

- 会期：2022年11月5日（土）・6日（日）
- 会場：東京国際フォーラム
- 来場者数：延べ10,000人（前年：約6,500人）
- 絹友会会員：(有)梅徳機業場、小池織物、今井整経所、堀井織物工場、高美機業場
- 出展者：全国の産地、問屋、小売店、各種団体など144ブース



<New Topic>
絹友会 Instagram を開設！

<https://www.instagram.com/kiyuhkai/>
今後も絹友会メンバーの取り組みを随時発信していきます。

首都圏での展示商談会事業 丹後織物総合展

「JFW JAPAN CREATION2023」へ11社が出展!

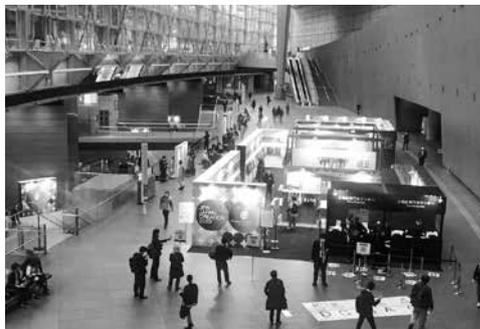


11月1日(火)・2日(水)、東京国際フォーラムにて開催された「JFW JAPAN CREATION2023」に丹後の事業者11社が出展しました。

本展示会は日本最大の繊維総合見本市であり、高感度・高品質・高機能などの付加価値の高い日本製品を一堂に揃えたクリエイションレベルの高いバイヤーが集う、多角的に情報とトレンド素材を知ることができるビジネスの場となっており、丹後ブースでは和装に加えアパレル・インテリア・アートなどライフスタイルに溶け込むような新素材を提案し、多種多様な繊維素材の総合産地として進化を続ける丹後地域の伝統技法で生み出したテキスタイルをPRすることができました。

丹後出展企業：11社

株式会社大江/柴田織物/創作工房糸あそび/タカモトシルク有限会社/田勇機業株式会社/丸仙株式会社/
株式会社山藤/遊絲舎/kuska fabric(新規出展)/PARANOMAD(新規出展)/TAMIYA RADEN 50音順



【出展者数】
JFW-JC2023:261社
(うち海外11社)
PTJ2023A/W:72社
(うち海外7社)
【入場者数】
約11,000人
(前年11,387人)

名取裕子さん講演会開催

11月13日(日)、「2022もう一つの丹後ちりめん創業300年 ～繋ぐ・紡ぐ・伝える～」(三絲の会・丹後ええもん工房主催)が与謝野町の知遊館あじさいホールにて、ゲストに女優の名取裕子さんをお迎えして開催されました。

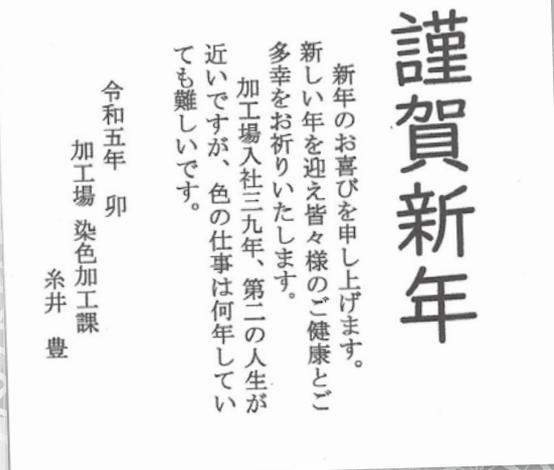
講演では、名取裕子さんが「きものは見る人にも着る人にも楽しみを与えてくれる。テーマに合わせて選ぶ際は知性と教養、経験、人生観を表す。きものは本当にすてき。すばらしい技術と素材を絶やさぬように、努力と世界に向けた発信をお願いしたい。」と熱く語られました。

午前中は、若い世代にもきものに関心をもってもらい和装文化を伝承することを目的に、別会場で地元の高校生らを対象に着付け教室が実施され、15名の高校生が参加、最後に名取裕子さんも立ち会われました。

ロビーでは丹後ええもん工房の作品展示、名取裕子さんが1978年(昭和52年)にモデルとなった丹後ちりめんカレンダーやレトロカレンダーパネルの展示を行い、320名の来場者にPRしました。



年男 年女



広
告

CGS2フォーマット対応ジャカードコントローラー

佐和染織工芸 ハリサ工業 エイチ・ケイ・サムテック **ダイレクトジャカードにも**
 エイチ・ケイ・サムテック **SEJ電子ジャカードにも**
 これまでのフロッピーディスクを使用しないCGS2フォーマット規格に対応した
 コンパクト設計のコントローラーです。
 光ファイバー仕様の佐和式ダイレクトジャカード・電子ジャカードに対応します



USBメモリーで製織 CGS2 Mini コントローラー



既存コントローラーの改造も可能で織戻し 一枚戻し 三枚戻し等も今まで通り操作することができます
 USBメモリーに保存した複数の紋紙データを読み出して製織できるようになります

主な操作機能・特徴

一枚送り 一枚戻し 三枚戻し 織戻し 織戻し時交換(杼箱)合わせ 先頭呼出し 越番指定呼び出し
 越番加算・減算呼出し 繰り返しカウンター停止信号 外部APF信号戻し

USBメモリーに保存したCGS2 データを製織時に読み込み・稼働します(製織準備時間30秒以内)

USBメモリーに最大 80 柄まで保存 ・ 選択製織可能

エンドレス 2000口 200rpmまで対応(どちらか片方上限値)

OS ・ ハードディスクを使用しない専用基板 高信頼設計 低消費電力

佐和染織工芸の伝統と技術の継承

これまでに国内1万台以上の実績 国内ダイレクトジャカードのスタンダードです
 エイチ・ケイ・サムテックは紋織リジャカード装置を通じて製織現場の信頼性を支え続けてまいります

製品のお問い合わせ先

丹後地区代理店	梅田機料品店	京丹後市網野町浜詰 678-29	0772-74-0616
	小牧機料品店	与謝郡与謝野町算所 463	0772-43-1121
	丹後ダイレクトサービス	与謝郡与謝野町幾地 1652	0772-42-4413
	ダイレクト・今井	与謝郡与謝野町石川 2324	0772-42-4445
	フナト機工有限会社	京丹後市網野町浜詰 678-33	0772-74-0347

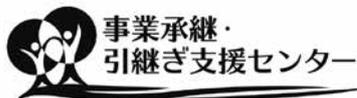
製造元

有限会社エイチ・ケイ・サムテック 岡山県美作市北山1001 0868-73-6166



私たちは、
「事業承継・引継ぎ支援センター」
 に相談しました。

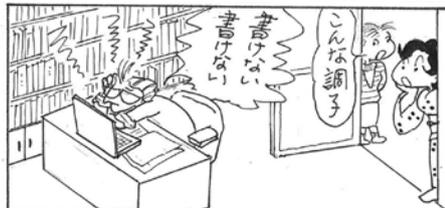
事業承継・引継ぎ支援センターは全国48ヶ所、各都道府県に設置されています。
 センターの所在地やより詳細な情報は、下記WEBサイトをご確認ください。



事業承継・引継ぎポータルサイト

<https://shoukei.smrj.go.jp>
 京都府事業承継・引継ぎ支援センター
 〒600-8565 京都府京都市下京区四条通室町東入 京都経済センター7階
 TEL:075-353-7120

きもの奥さま よいたさなえ



編集後記

○新年あけましておめでと〜いいます。
今年の干支である癸卯年は、これまでの努力が実を結び飛躍する年。昨年、組合では「丹後織物工業組合 産業振興プラン」を策定し、その具現化のため様々な取り組みをはじめたところだが、その取り組みが実を結び丹後産地が大きく飛躍して行けるように頑張っていきたい。

(MU)

TANGO TEXTILE EXHIBITION

オープンファクトリー「精練の世界」及び TANGO TEXTILE展示商談会・販売会 開催

12月13日(火)から23日(金)の11日間にわたり、オープンファクトリー「精練の世界」及び展示商談会・販売会を開催しました。

丹後ちりめんの精練加工技術を分かりやすく、どなたでもご覧いただけるよう加工場の見学ルートの再整備・音声ガイドの設置を行い、来年度以降の稼働に向けたテストマーケティングとしてオープンファクトリー(有料)を開催しました。併催イベントとして、丹後の最高の織り技術を活かした優れたテキスタイル・プロダクト群が並ぶ展示商談会・販売会を実施しました。

オープンファクトリーではスマートフォンを利用した音声ガイドアプリによる詳しい解説とともに見学ルートだけでは確認できないような、職人たちのきめ細かな作業風景をご覧いただきました。会期中は約300名が来場され、織物関係者のみならず一般の方々にも丹後の織物文化を知っていただく機会となりました。

今回のテストマーケティングで得た意見を基に、今後の常設開催に向け、改良を重ねて参ります。ご期待ください。



【会期情報】

- 会期:2022年12月13日(火)~23日(金)
- 場所:丹後織物工業組合 加工場及び特設会場

来場者のご意見

- ・他産地の工場に伺わせていただいても織機の音などで説明が十分に聞こえないこともあったが、今回の音声ガイドの仕組みは動画もあり分かりやすく「体験」ができました。丹後の魅力をたくさん教えていただきありがとうございます。
- ・面白かったが、もう少し補足説明が聞きたかった。
- ・精練に関わる職人技が直接見られて興味深かった。
- ・織物の裏側が知れたのでとても良かった。
- ・ワークショップが楽しかった。
- ・ものづくりの現場に実際に訪れることで感じるものがたくさんありました。日本の美はもっと誇られて良いと思いました。
- ・とても懐かしく見学しました。現場で作業されている方は若い方が多く、今後のご活躍と業界の発展再興を願ってやみません。
- ・世界に誇る技術が、京丹後市にあると実感しました。全ての工程において、職人の高い技術を見学でき、とても感動しました。
- ・手間を惜しまない丹後ちりめんの良さが理解できた。
- ・どしどし世界に発信してってください。素晴らしい取り組みだと思います。
- ・市外から観光等に来られる全国の皆さんに丹後ちりめんを知っていただく機会を作れたら良いと思います。

〔特設ページ〕 <https://tanko.or.jp/tof/>